

= 普及情報 =

No. 3

平成29年7月26日

西部農林振興センター浜田農業普及部

標題 | 浜田市ピオーネの出荷が始まりました。

(ダイジェスト)

平成29年7月21日に浜田市久代町からピオーネ約40kgの出荷が始まり、24日までに約340kg出荷されています。また、浜田市金城町からは24日に約60kg出荷が始まりました。久代町では8月上旬、金城町では9月中旬に出荷ピークを迎えます。

浜田市では平成26年度に「ピオーネをはじめとする大粒系ぶどう、赤梨、西条柿」を将来、浜田の顔となる農産物に選定しました。浜田市内では久代町、金城町を中心に栽培面積3.7haでピオーネの栽培が行われており、将来の目標として販売金額が1億円以上となるよう活動を行っています。

平成29年7月21日にピオーネが久代町から約40kgの出荷が始まり、24日までに337kg出荷がありました。また、24日からは金城町から約60kgが初出荷されました。初出荷されたピオーネは糖度18度以上あり、酸抜けもよく、粒張りも優れた果房となっています。当管内のピオーネは久代地区では8月上旬、金城地区では9月中旬に出荷ピークを迎えます。

今年度はぶどうリースハウス事業を導入し約60aのパイプハウスを設置する予定で、この事業を産地発展の起爆剤とし、今後さらに産地が活性化されることが期待されます。引き続き、関係機関と連携して栽培をはじめとした支援を行っていきます。



出荷目合わせ会の様子（久代町）



出荷されたピオーネ（金城町）